

大島商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	工業英語		
科目基礎情報							
科目番号	0087		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	電子機械工学科		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	【参考資料】 Introduction to Nuclear Technology / 基礎 原子力工学 (国立高等専門学校機構) / 技術英語の基本 (コロナ社)						
担当教員	中村 翼						
到達目標							
(1) 英語 (または日本語) の言い回しを理解し、適切に表現することができる。 (2) 専門図書 (英語) の内容を理解し、その内容を分かり易く説明することができる。 (3) 任意の実験キットを用いた実験を行い、その内容を英語でプレゼンテーションし、分かり易く説明することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	英語 (または日本語) の言い回しを理解し、適切に表現することができる。	英語 (または日本語) の言い回しを理解できる。	英語 (または日本語) の言い回しを理解できない。				
評価項目2	専門図書 (英語) の内容を理解し、その内容を分かり易く説明することができる。	専門図書 (英語) の内容を理解できる。	専門図書 (英語) の内容を理解できない。				
評価項目3	任意の実験キットを用いた実験を行い、その内容を日本語でプレゼンテーションし、分かり易く説明することができる。	任意の実験キットを用いた実験を行い、その内容を日本語でプレゼンテーション (スライドは英語) し、分かり易く説明することができる。	任意の実験キットを用いた実験を行い、その内容を日本語でプレゼンテーションし、分かり易く説明することができない。				
学科の到達目標項目との関係							
JABEE J(09) 本校 (1)-a 電子機械 (3)-c							
教育方法等							
概要	まず始めに導入として、英語 (または日本語) の言い回しを理解する。その後、専門分野の英文翻訳、任意の実験キットを題材とした実験内容をレポートまとめる。適宜、授業時間を使って、英語 (または日本語) でのプレゼンテーションを行う。また行ったプレゼンテーションに対して、ディスカッションも行う。						
授業の進め方・方法	電子・電気および機械分野に関して記述された基礎的な英文を読み、理解できる。日本語の簡単な作業指示を英文に出来る。これらの知識を専門分野の中で使いこなすレベルを目標とする。						
注意点	英和・和英辞書 (電子辞書も可) を持参して下さい。 出題した自学自習課題は必ず毎回提出して下さい。 また提出日等の期限を必ず守って下さい。指示を守られなければ、減点の対象となります。 なお個々のスキルの違い等が理由で、学習進度に変更がある場合があります。						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス / 英語表現能力の基礎	例文を参考に、英語表現の言い回しを説明できる。			
		2週	英語表現能力の基礎 / 発表準備	例文を参考に、英語表現の言い回しを説明できる。また調べた英語表現の発表準備を行う。			
		3週	英語表現の発表 1	各自が調べた英語表現の発表を行う。発表時間の目安としては、2分/人とする。			
		4週	英語表現の発表 2	各自が調べた英語表現の発表を行う。発表時間の目安としては、2分/人とする。			
		5週	日常生活や身近な話題 (英語) の収集と翻訳	日常生活や身近な話題 (英語) の収集と翻訳を行う。			
		6週	日常生活や身近な話題 (英語) に対する意見等のまとめ	日常生活や身近な話題 (英語) に対する意見等を文章にまとめ、相互にその内容の確認を行う。			
		7週	専門図書 (英語) の翻訳と内容理解 1	専門図書の翻訳とその内容の理解をする。			
		8週	前期中間試験				
	2ndQ	9週	専門図書 (英語) の翻訳と内容理解に対して発表 1 および中間試験の解説	7週に理解した内容の発表を行う。また前期中間試験の解説を行う。			
		10週	専門図書 (英語) の翻訳と内容理解 2	専門図書の翻訳とその内容の理解をする。			
		11週	専門図書 (英語) の翻訳と内容理解に対して発表 2	10週に理解した内容の発表を行う。			
		12週	実験キットを用いたプレゼンテーション準備 1	これまでに体験した実験実習を参考に、任意に選択した実験キットに対して、実験を行う。その内容を英語 (場合によって日本語) でプレゼンテーションするための準備をする。			
		13週	実験キットを用いたプレゼンテーション準備 2	これまでに体験した実験実習を参考に、任意に選択した実験キットに対して、実験を行う。その内容を英語 (場合によって日本語) でプレゼンテーションするための準備をする。			
		14週	プレゼンテーション 1	英語でプレゼンテーションを行い、その内容を説明できる。			
		15週	プレゼンテーション 2	英語でプレゼンテーションを行い、その内容を説明できる。			
		16週	前期末試験				
評価割合							
	試験	発表	相互評価	レポート	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	25	15	20	0	0	100

基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
專門的能力	40	25	15	20	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0